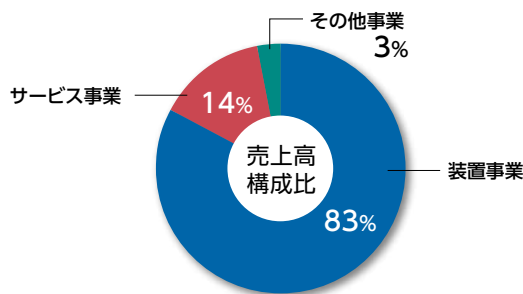


事業セグメント別概況



〈装置事業〉

- 環境試験器
- エナジーデバイス装置
- 半導体関連装置

〈その他事業〉

- 環境保全
森づくり・水辺づくり・都市緑化など
- 新規事業
植物工場など

〈サービス事業〉

- アフターサービス・エンジニアリング
- 受託試験・レンタル

装置事業

環境試験器が好調に推移し、増収増益

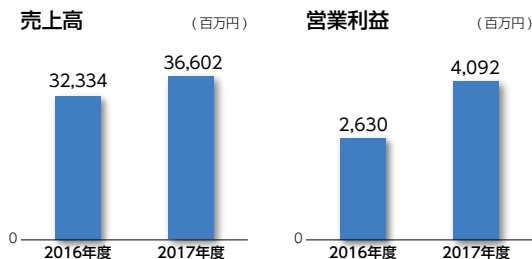
環境試験器では、国内市場において、汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに好調に推移しました。海外市場においては、輸出および現地子会社ともに好調に推移し、中国・米国・欧州・東南アジア・韓国では前年度比で増加しました。環境試験器全体では受注高・売上高ともに前年度比で増加しました。

エナジーデバイス装置では、大型案件の受注があった前年度比で受注高は減少しましたが、売上高は前年度比で増加しました。

半導体関連装置では、スマートフォンや自動車関連メーカーからの受注が堅調に推移し、受注高は前年度比で増加しましたが、売上高は前年度比で減少しました。装置事業全体では、前年度比で売上高は13.2%増加し、営業利益は、増収と原価率の改善により55.6%増加しました。



ハイパワー恒温(恒湿)器 ARシリーズ スタンダードタイプ



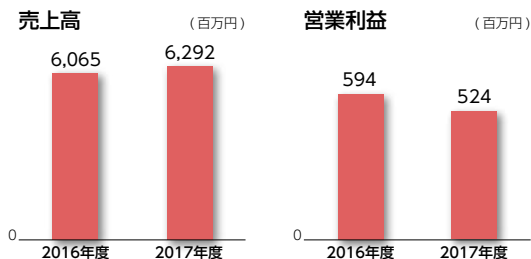
サービス事業

売上高は増加したものの、営業利益は減少

アフターサービス・エンジニアリングでは、受注高・売上高ともに前年度並みとなりました。受託試験・レンタルでは、テストコンサルティングが好調に推移し、受注高・売上高ともに前年度比で増加しました。サービス事業全体では、前年度比で売上高は3.7%増加し、営業利益は研究開発や市場開拓などに伴う販管費の増加などにより11.7%減少しました。



ネットワークを使用し、タブレット端末で装置を操作するオンラインサービスを提供



その他事業

売上高は前年度並み、営業損失

環境保全事業および植物工場事業を営むエスペックミック株式会社では、受注高は増加しましたが、売上高は前年度並みとなりました。その他事業全体では、売上高は前年度並みとなり、利益面については、新たな市場開拓に伴う販管費の増加などにより営業損失となりました。



ストロベリーフィールド(イチゴ多収生産システム内部)

